

## 第2回 六甲山系有馬地域学習ゾーン検討委員会

### 議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年12月13日(木) 10:00～12:00
2. 開催場所：有馬地域福祉センター 2階会議室
3. 出席者：

#### 【委員】

宮田 隆夫	神戸大名誉教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然(六甲全体)
水野 浩典	神戸市立有馬小学校 校長 (神小研理科部参与)	自然(郷土)
稲垣 健	神戸市立鹿の子台小学校 校長 (前指導課指導主事)	郷土史
藤井 清	有馬温泉郷土史研究家	郷土史
藤木 久幸	有馬川を美しくする会 会長	地域活動
神野 忠広	六甲砂防事務所事務所長	砂防・防災

#### 【事務局】

六甲砂防事務所	森東課長、杉浦係長
株式会社エイト日本技術開発	田中、松本、松島、嶋田

#### 4. 配付資料

- 議事次第
- 第2回検討委員会資料(資料①～④)
- 参考資料 冊子「みんなで語り、伝えよう！有馬川物語(案)」、散策マップ(表面:案)、サブノート(案)

#### 5. 議 事

1. 開 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ
2. 議事	
(1) 第1回検討委員会議事要旨について	・事務局による説明(資料①)
(2) 本委員会での検討内容・スケジュールについて	・事務局による説明(資料②)
(3) 冊子に関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料③)
意見交換	①不思議編について
	②素晴らしさ編について
	③安全・安心編について
(4) 散策マップ・サブノートに関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料④)
意見交換	散策マップ・サブノートについて
(5) その他、今後の予定について	
5. 閉 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ

## <議 事>

### ●事務所長あいさつ

### ●資料①、② 事務局説明

### ●質疑応答

(香西委員)

- ・資料①P2、コウベマイマイではなくギューリキマイマイであったため、訂正願いたい。
- ・有馬三山について、ハイキングルートや観光マップでは湯槽谷山が含まれている。利休荘からの三山とは異なるが、併せて説明してはどうか。
- ・魚屋道と住吉道について、前回の委員会の中で同じという表現をされていたが、混同するのはよくないのではないか。二軒茶屋から有馬へ降りる魚屋道は多くの方に利用され、「魚屋道」として親しまれている。

### ●資料③ 事務局説明

### ●意見交換

#### ①不思議編について

P1-1

(宮田委員長)

- ・「私たちの街」、「私たちの住む街」という使い方をしているが意図したものか。そうでないなら表現の統一を図るべきであろう。
- ・本文中に記載されている山について図に示すこと。

(神野委員)

- ・図中の山名について、複数あって混乱を招くため主要なものに絞るべきではないか。

(水野委員)

- ・本文中に「一千万ドルの夜景」という表現があるが、一千万ドルとされている理由も記載してはどうか（現在では、一千万ドルの電気代がかかるということ）。
- ・また、山の名前について、狭い範囲に密集することになるので、番号だけ位置を落として対応する名称を別の箇所に記載してはどうか。

P1-2

(宮田委員長)

- ・「神戸市と六甲山地の様子」として航空写真が掲載されているが、北から南を向いていることが明確となるように方位（東西）を記載してはどうか。

(稲垣委員)

- ・山の名称については黒字では見えにくいため、黄色などにしてはどうか。

P1-3

(水野委員)

- ・落葉山に関する記述について、「白髪の老人が投げた木の葉をたどった」ではなく「白髪の老人からもらった椰（なぎ）の葉を仁西上人が投げた」である。

(宮田委員長)

- ・有馬三山の眺めと、背山の様子（航空写真）について方位をあわせてはどうか。
- ・背山の様子（航空写真）については、もう少し温泉地周辺に拡大し利休荘の位置を図示する。

P1-4～1-9

(宮田委員)

- ・有馬層群について、内容・図共に表現を見直す点がある。詳細については、委員会後に修正点を

まとめたものをお渡しするので参考としてほしい。

- ・P1-9、模式断面図の凡例について、神戸層群はかたい地層に分類される。また、岩石ではなく、「かたい地層・岩石」と表現してはどうか。
- ・文章中に「地面の動き」とあるが「大地の動き」とするほうが適切ではないか。

(稲垣委員)

- ・P1-4、2億年を帯グラフで表現したものがあがるが、もう少し横に伸ばすなどして現代付近を見やすくできないか。

P1-12

(稲垣委員)

- ・神有電鉄は「神戸市湊川から有馬」、「有馬から三田」ではなく、「有馬口」を基点としている。また、北神急行電車として掲載されている写真は別のものであるため、差替えを行う必要がある。
- ・六甲山トンネルの記述の箇所、唐戸とあるが唐櫃の間違いではないか。

P1-13

(稲垣委員)

- ・「土地利用を見ても」とあるが、掲載されている有馬川周辺のゴルフ場の図で十分理解されるため「右の図を見ても」としてよいのではないか。

P1-16

(宮田委員長)

- ・有馬一高槻断層帯の露頭の写真について、影が映っているためわかりにくくなっている。最終的には差替えて頂きたい。

P1-19

(藤井委員)

- ・岩の名称にふり仮名をふって欲しい。

P1-22

(稲垣委員)

- ・有馬川の流れと六甲川の流れを示した図について、それぞれ方位が異なっており混乱を招くため、図の方位を統一する。

(藤井委員)

- ・昔の六甲川の流れについて、もう少し上流へ延長していた。修正いただきたい。

## ②すばらしさ編について

P2-3、2-4

(水野委員)

- ・掲載されている写真について、逆さになっているものがあるため確認いただきたい。
- ・また、ヒメカンアオイは葉が特徴的であるため、葉が写るものに差し替えてはどうか。イヌビエについては、わかりやすい写真にするか別の植物に替えてはどうか。
- ・ケケンボナシは春の植物になるのではないか。
- ・掲載されている植物のほか、ヤブツバキ、ミヤコザサ、ササユリも特徴的である。

P2-5

(藤井委員)

- ・有馬山植物一班の写真について、現在ではもう少しシワが伸びているため、シワのとれた明るい写真に差替えてほしい。

(宮田委員長)

- ・その際、スケールがわかるように配慮すること。また、掲載にあたっては、植物が見える大きさとしてほしい。

#### P2-6

(藤井委員)

- ・アリマシノの発見に関する記述について、有馬町東部、神戸市有馬付近と重複する表現がされているため、どちらかを削る。

#### P2-7

(藤井委員)

- ・シチダンカの記述について、再発見された地点は「六甲ケーブル山頂駅付近」ではなく、「六甲ケーブル山頂駅下方」であるため、修正願いたい。

#### P2-11、12

(水野委員)

- ・有馬温泉について「三大名泉」や「日本三名泉」と表現されているが、どちらかに統一すべきではないか。
- ・有馬温泉の記述について、「日本三名泉や日本三古泉と呼ばれています」から「日本三名泉と日本三古泉の両者に名を連ねています」という表現に変更してはどうか。
- ・有馬温泉の泉質について、多くの成分が含まれていることが世界的にも珍しいため、もう少し記述してほしい。

(稲垣委員)

- ・記述の表現について、三名泉・三古泉の紹介では各温泉が横並びで紹介されていたが、泉質・泉源では、縦に並んでおり混乱する可能性がある。どちらかに統一すべきである。また、泉源では写真の並びとも対応させるとよりわかりやすくなるのではないか。

#### P2-13

(藤井委員)

- ・高等温泉の図題について、「昭和 36 年」となっているが「明治 36 年」の間違いであるため修正すること。

#### P2-15

(稲垣委員)

- ・駅前橋の記述の箇所で●ページとあるが、最終的にはページ番号が入るのか。

(事務局)

- ・有馬鉄道に関するページの番号が入る。

#### P2-35

(藤井委員)

- ・有馬大茶会の野点の写真があるが、掲載されている写真は昭和 50 年頃の写真であるため、現在のものに差替えるか、年代を明記する必要がある。

#### P2-36

(稲垣委員)

- ・入初式に関する記述について、敬語表現が混ざっており小学生向けには適していないため検討を行う必要がある。

(事務局)

- ・全体を通して表現、記述の統一を図る。

(藤木委員)

- ・入初式の写真について、適切な写真があるため提供を行う。

### ③安全・安心編について

#### P3-1～5

##### (稲垣委員)

- ・ P3-1、昭和 13 年と昭和 42 年の水害を比較している記述箇所について、「災害対策（砂防事業）が進んだことによって被害が軽減された」という趣旨が伝わるよう内容を再考する。
- ・ P3-4、「昭和 42 の昭和 42 年災」となっているため、誤字の修正を行う。また、「特に六甲山系の南側を流れる住吉川や芦屋川～」から「特に六甲山系の南側は、住吉川や芦屋川～」の変更した方がわかりやすいのではないか。
- ・ P3-5、集中豪雨に関する記述の中で、平成 18 年 7 月豪雨を「大災害」としているが「大」をつけるべきか検討が必要ではないか。

##### (事務局)

- ・ 「大きな災害」に変更する。

##### (神野委員)

- ・ 災害の記録に関する文章は特に長文になりやすいことから、もう少しコンパクトにまとめる必要がある。

#### P3-6

##### (藤井委員)

- ・ 仮設住宅の写真について、五社住宅となっているが、五社には仮設住宅がなかったように記憶している。確認してほしい。

##### (事務局)

- ・ 確認を行う。

#### P3-8

##### (藤井委員)

- ・ 鼓が滝の写真について、昭和 13 年以前とあるが明治の終わり頃であるため記載を検討してほしい。

#### P3-9

##### (稲垣委員)

- ・ 集中豪雨に関する写真について、注意看板が掲載されているが、都賀川の平常時の写真に差替えた方が、集中豪雨の恐ろしさが伝わるのではないか。

##### (事務局)

- ・ 平常時の都賀川の写真と差替え比較を行う。

#### P3-14

##### (稲垣委員)

- ・ 雨量の目安について、非常に激しい雨のイラストがイメージしにくい。変更するか、取ってしまってもよいのではないか。

#### P3-24

##### (稲垣委員)

- ・ ヨハネス・デ・レーケの写真について、名前の文字が見にくい。きれいにしないか。

#### P3-27

##### (藤井委員)

- ・ 本多静六に関する資料を提供するので参考として欲しい。

##### (稲垣委員)

- ・ 六甲山地が荒廃した原因のひとつに、薪として樹木を切っていたためと記載されているが、現代

の小学生には薪の利用など馴染みが無い。そのためまず前提として昔は木を利用して生活していたことを伝えるべきではないか。

(神野委員)

- ・下草をとって肥料にしていたということもある。それら昔の暮らしを前提に整理する必要がある。

## ■全体について

(宮田委員長)

- ・可能な限りで掲載している写真の場所を地図に落としてはどうか。また、歴史・文化については年表に示してもよいのではないか。

## ●資料④ 事務局説明

### 散策作マップ

(藤井委員)

- ・白水峡は崩れやすいため登らないよう注意が必要である。

(宮田委員長)

- ・船坂の段丘について、地図からは外れているおり流域も異なるが掲載するか。

(神野委員)

- ・冊子の中(断層の説明)にて、写真と位置図にて示すことでよいのではないか。

(宮田委員長)

- ・そのように追加すること。

(水野委員)

- ・青色のマップの中央辺りに「北六高台小学校」となっているが、「北六甲台小学校」の間違いでないか。

### サブノート

P8

(藤井委員)

- ・植物の写真が冊子同様逆さになっている。

P12

(神野委員)

- ・ルビが全く違うので、修正すること。

P13

(水野委員)

- ・炭窯の写真について、上から覗いた写真へ変更してほしい。

## ●その他

(藤木委員)

- ・完成した冊子は配布を行う予定なのか。

(事務局)

- ・神戸市の教育委員会と相談させていただくことにはなるが、小学校の図書館で保管していただくものは配布を行う予定である。

(藤木委員)

- ・山口町の人から、冊子に興味があるため是非欲しいという話を聞いている。神戸市だけでなく、西宮市にも配布して欲しい。

(事務局)

- ・ご協力いただいた関係機関には配布する予定である。

(神野委員)

- ・事務所のホームページにて誰でも見られるように公開もする予定であるが、当然印刷したものはお配りすることが必要であろうと考えている。

(宮田委員長)

- ・冊子をまとめるにあたって、文献リストをつけること。また、出典については明記すること。

## ●閉会挨拶

(神野事務所長)

- ・2時間の間、ご熱心にご意見承りましたこと、ありがとうございます。先ほど、事務局より申し上げましたように、スケジュールがタイトな中で進めてまいりますので、至らぬ点多々あるかと思いますが、委員の皆様のご理解とご協力をいただきながら進めてまいりたいと考えております。本日は年末のお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございました。